



2026年5月15日

各位

会社名 YUSHIN株式会社
 代表者名 代表取締役社長 小谷 高代
 (コード番号: 6482 スタンド市場)
 問合せ先 取締役副社長管理本部責任者 小田 康太
 TEL 075-933-9555

特別損失（減損損失）の計上、通期業績予想と実績との差異及び 個別実績と前期個別実績との差異に関するお知らせ

当社は、2026年3月期において、下記のとおり特別損失を計上することとなりましたのでお知らせいたします。また、2025年11月14日に公表いたしました2026年3月期の通期連結業績予想と本日公表の実績値、及び2026年3月期個別実績と前期個別実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上の内容

当社は、連結子会社WEMO Automation ABに係る事業環境の変化等を踏まえ、将来の回収可能性を再評価した結果、減損損失を867百万円計上することといたしました。

2. 業績予想と実績との差異

(1) 2026年3月期通期連結業績予想と実績との差異 (2025年4月1日 ~ 2026年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (2025年11月14日 発表)	百万円 23,000	百万円 1,500	百万円 1,500	百万円 1,000	円 銭 29.38
実績値(B)	23,101	826	908	286	8.51
増減額(B-A)	101	△ 673	△ 591	△ 713	—
増減率(%)	0.4	△ 44.9	△ 39.4	△ 71.3	—
(ご参考) 前期実績 (2025年3月期)	26,126	2,586	2,535	1,692	49.74

(2) 通期連結業績予想と実績との差異の理由

欧州地域における景気低迷の長期化に加え、北米地域では政策動向の先行きが不透明な状況が続いております。両地域における当社製品の需要が当初の想定を下回って推移していることに加え、中長期的な成長を見据えた積極的な人財投資による人件費の増加や開発投資に伴う研究開発費の増加などの影響により、営業利益及び経常利益ともに前回発表予想を下回る実績となりました。また上記の特別損失を計上することにより、親会社株主に帰属する当期純利益も前回発表予想を下回る実績となりました。

3. 2026年3月期個別実績と前期個別実績との差異

(1) 2026年3月期個別実績と前期個別実績との差異 (2025年4月1日 ~ 2026年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績(A) (2025年3月期)	百万円 17,000	百万円 2,165	百万円 2,646	百万円 2,070	円 銭 60.82
当期実績(B) (2026年3月期)	14,882	994	1,474	1,508	44.75
増減額(B-A)	△ 2,117	△ 1,170	△ 1,171	△ 561	—
増減率(%)	△ 12.5	△ 45.7	△ 44.3	△ 27.1	—

(2) 個別実績と前期個別実績との差異の理由

上記連結業績の差異要因と同じく欧州地域及び北米地域における当社製品の需要が前期実績を下回り、売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益ともに前期を下回る実績となりました。

以上